

## 第 11 回「大伴家持卿顕彰詩歌の会」開催について

令和 3 年 7 月吉日

### 一、趣旨

放生津八幡宮境内には、文学博士佐々木信綱氏が昭和 14 年(1939)に揮毫した家持卿の歌碑があります。

当宮は、万葉の景勝地「奈呉の浦」に面して建っています。

地元の先人たちは、家持卿を当宮創建の祖として境内に祀り、大伴家持卿の偉業を記すため文化 13 年(1816)に顕彰碑を建てました。

また、松尾芭蕉は元禄 2 年(1689)万葉の景勝地を訪ねて境内地を通り「奈呉の浦」の景色を眺めています。

地元の人々は、この事を記すため天保 14 年(1843)に境内地に芭蕉の句碑を建立しています。

地元の先人たちは家持卿や芭蕉翁の功績を称えて歌会や句会を開催してきました。

当会は、先人たちの意思を継承し、短歌や俳句を通して、自然や風土を見つめなおし、郷土の良さを再認識する機会になると期待し、「大伴家持卿顕彰詩歌の会」と名付け、作品募集を行っています。

### 二、詩歌募集要項

#### (一)『作品募集』

「応募作品」：(イ) 短歌部門 (ロ) 俳句部門の二部門

「年齢区分」：①一般 (高校生以上) ②児童・生徒 (小・中学生)

作品は未発表のものに限ります。海外ご在住の方でもご参加いただけます。

一人につき各部門にて、それぞれ三作品までとします。

#### (二)『応募方法』

郵送又は直接放生津八幡宮社務所までご持参下さい。

なお、FAX、メールによる応募も可能です。

#### (三)『応募締め切り』

令和 3 年 8 月 5 日 (木) 必着

#### (四)『表彰』

入賞者は北日本新聞の紙面で発表するとともに本人宛 (学生の場合は学校宛) に通知されます。なお、優秀作品及び作者名を、広報誌等に掲載することもありますので、予めご了承ください。 ※祖霊社祭は、令和 3 年 8 月 28 日 (土) 午後 4 時より斎行します

(五) その他

【評価のポイント】

作品は楷書で書き、難しい読みにはルビをふって下さい。

題材は自由で、祖霊社祭にこだわる必要はありません。

短歌・俳句の構成、季語などの基本的な事項を理解していることが大切です。

例年みられる傾向として、芸術点が高く、優秀な作品であるものの、文法的な誤りがある場合は、減点となる場合があります。

なお、奇を衒った作品は当会の趣旨から外れますので、あらかじめご了承ください。

【評価方法】

作品は有識者による文法的・文学的な評価に加え、互選形式により「天・地・人・佳作」の4段階で評価致します。

※応募作品には、受賞等事務的な連絡がとれる、住所・氏名・年齢（学年）・連絡先を御記載下さい。

※参加費は無料です。

主 催 「大伴家持卿顕彰詩歌の会」実行委員会 委員長 安田泰博

後 援 北日本新聞社

問い合わせ 放生津八幡宮社務所（事務局）

〒934-0025

射水市八幡町2-2-27

TEL(0766)-84-3449

FAX(0766)-75-1254

応募用メールアドレス houjyoudu8shrine@gmail.com